

【山崎主宰の俳句】

銃口

山崎 聰

約束のように雨降りさくらんぼ
もうすこし先へ色なき風のなか
金平糖の色がこぼれて青葉騒
八十八夜立ち上がるときふいにこえ
六月のちょうどよい距離おみなたち
鎌足も孔子も真顔ひきがえる
夏の夜のかるいあそびとしてふたり
銃口がこっちを向いてああ夏野
怒っているよ夏雲の海坊主
神さまのささやき合っている良夜